



国土交通省近畿地方整備局

Kinki Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配 布 日 時	平成30年10月22日
資料配布		14時00分

件 名	<h2 style="text-align: center;">インフラの維持管理の課題を解消する 最新技術を提案します！</h2> <p style="text-align: center;">～ 第4回ピッチイベント～</p>
-----	---

概 要	<p>インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラムでは、地方公共団体から寄せられたインフラメンテナンスの課題（ニーズ）に対し、民間事業者などが保有する技術とのマッチングを図る「第4回ピッチイベント※」を建設技術展（2018近畿）会場において開催します。</p> <p>ピッチイベントに併せて、インフラメンテナンスに関する新しい分野の新技術の適応・可能性についての「特別講演」及び平成30年7月27日及び9月27日に実施した実証実験についての「実証実験報告」を行います。</p> <p>※短い時間で自社の製品やサービスを紹介（プレゼン）するイベント</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>■開催日時：平成30年10月25日（木）13：00～16：30</p> <p>■開催場所：建設技術展2018近畿 マイドームおおさか8階 第3会議室 （大阪府中央区本町橋2-5）</p> <p>■プログラム（予定）</p> <p>◆特別講演： ・「合成開口レーダ（SAR）衛星によるインフラ変位モニタリング」 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構</p> <p>◆実証実験結果報告： ・[法面点検（目視点検）を支援する技術] ニーズ提供：奈良県 ・[常時水没している構造物の点検効率化技術] ニーズ提供：大阪市港湾局</p> <p>◆第4回ピッチイベント： ・[港湾・海岸に漂着したゴミの測量技術] ニーズ提供：兵庫県</p> <p>※当日、報道関係席を設けます。会場受付にお越し下さい。 「インフラメンテナンス国民会議」の詳細は、 <a href="http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.html">http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.html</a>をご参照下さい。</p>
-----	--

取 扱 い	—
-------	---

発 表 場 所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
---------	--------------------

問 合 せ 先	<p>国土交通省 近畿地方整備局 企画部 事業調整官</p> <p style="text-align: right;">そうがわ ゆうさく 寒川 雄作 かわしま たかひろ 川島 隆宏</p> <p>企画部 企画課課長補佐</p> <p>TEL：06-6942-1141（内線3116、3156）、06-6942-4090（直通）</p>
---------	---

## ■特別講演

### 「合成開口レーダ（SAR）衛星によるインフラ変位モニタリング」

JAXA は、ロケットや衛星などの宇宙開発利用の研究開発に取り組む組織であり、現在、衛星で取得されるデータは災害状況把握、気象、漁業などで利用されています。

衛星搭載の合成開口レーダデータにより広域の地盤沈下監視、火山活動の監視などに実施されてきましたが、この技術をインフラの維持管理に応用することで社会課題に応えることが可能であることに着目し、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）に応募し、平成 26 年度より研究開発活動を実施されております。

現状、土木インフラの点検は、目視により実施されており、技術者の減少、維持管理コストの増加が社会課題となっていることを背景に、本講演では、これら課題に応えるため合成開口レーダ（SAR）衛星によるインフラ変位モニタリングの概要や利用者にとっての効果などについて説明していただきます。

## ■実証実験結果報告

課題（ニーズ）：法面点検（目視点検）を支援する技術 [ 提供者：奈良県 ]

シーズ技術：国際航業（株） 『ICRT 技術を活用した効率的な斜面・法面点検技術』  
（株）アスコ大東 『MMS 等を利用した法面点検支援技術』  
国土防災技術（株） 『法面点検を支援する微地形判読技術』

課題（ニーズ）：常時水没している構造物の点検の効率化技術

（水中部での目視点検を支援する技術） [ 提供者：大阪市港湾局 ]

シーズ技術：ドライ工法協会（代表者：深田サルベージ建設（株））

『ドライ工法（ドライボックスを設置して陸上と同等の作業環境を構築した上での点検及び損傷箇所の補修）』

## ■第 4 回ピッチイベント

★ニーズ提供：兵庫県

テーマ：港湾・海岸に漂着したゴミの測量技術

### 【施設管理者の求める条件】

港湾・海岸に漂着したゴミの漂着面積を短時間（半日程度）に把握できる技術を求める。

### 【現状】

- ①現地の巡視による概略調査（数日かかっている）
- ②現地での着岸区間確認
- ③陸上から概ねの漂着範囲を目視またはテープ計測により確認
- ④現地での確認結果から漂着物の範囲を平面図に記入し面積算出

※本ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術（マッチング技術）については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。